

令和2年度 第1回岡山市子ども・子育て会議（議事録/要約）

日時：令和3年3月16日（火）午後2時～午後3時24分

場所：岡山市勤労者福祉センター5階体育集会室

開会

- ・局長挨拶
- ・会長挨拶
- ・新任委員挨拶
- ・成立確認・・・委員20名中18名出席にて過半数を充足し、成立を確認。

議事

議事進行は会長

（1）岡山市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について

〔事務局から資料に沿って説明〕

委員 8番の一時預かり事業のところで、保育園が定員いっぱいまで預かっているから実績が下回っているというご説明であったが、保育士不足などで定員割れをしている保育園が今でも30%以上あると思うが、いかがか。

事務局 現状としては保育園で預かれる限界に来ており、人員体制も含めていっぱいという事情で、保育園に行っていない人を預かれる状況ではなかったということがこの落ち込みの理由になる。

会長 他にあるか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

（2）市立児童館、善隣館、仁愛館の今後の在り方について

〔事務局から資料に沿って説明〕

会長 今回この3つの在り方について検討をスタートさせた理由はなにか。老朽化して新しくやり替える時期が来ているからなのか。

事務局 建物自体も古くなり更新時期が来ているのはある。先ほど善隣館であった国の方針が変わるとか、あと児童館だと利用者の内容の変化など、時代の流れが変わっ

てきたため、考え方を改めて出したので、ご意見をいただきたい。

会長 もう一点、市立児童館については保護者のニーズがあると伺ったが、善隣館、仁愛館に対する市民のニーズはどういう状況なのか。

事務局 社会的養護施設に平成31年度で191人入所している。家で育てていくことがかなわない子供たちというのは一定数いるので、その子供たちのための場所だ。母子生活支援施設についても、必ず一定数自分の力で子供と一緒に生活する場を確保できない母子世帯というのはいる。入所し自立する力をつけてほしい方には入っていただけるように造っていきたい。

委員 善隣館では専門職の看護師を配置していないとか、仁愛館では心理療法担当職員が欠員など、いい建物ができて、受け入れる人がいないと運営ができないと思う。この欠員は、ずっといないのか、たまたまいなかったのか。

事務局 仁愛館でいうと、心理士は昨年度途中から退職されて欠員になっている。募集をしてもなかなか来ていただけない。善隣館の看護師は、今のところ医療的ケア児を積極的に入れる体制は取っていないため、採用していない。

委員 医療的ケアが必要な子供たちは、どのように対応するのかということと、今の心理療法担当者が辞めて、募集してもなかなか来ない。これはよく言われることだ。その募集条件、要は賃金とか労働時間、休暇などを見直したか。

事務局 岡山市全体の中で、応募がないから賃金等を上げていくという整理がつかないところでは正直ある。医療の必要な子供たちは、別の施設に今は入っている。

委員 議会が終わった後で予算の確保はできたということだ。この会は、意見を出してそれが反映される会なのか。聞いていると報告会のような感じがしてならない。この会の位置づけをもう一度お知らせいただきたい。

事務局 岡山っ子育成局で作成しているプラン、計画が2本あり、1つが『子ども・子育て支援プラン』、もう一つが『子ども・子育て支援事業計画』だ。

事業計画は、保育園、児童クラブ等の量の見込みと確保方策をこれは法律で定められておりつくらなければならない、皆様方は要綱による子ども・子育て会議委員だ。そこに諮りながらつくるのが事業計画だ。プランについては、特に諮るところまでは位置づけはない。ただ、セットで今までもご説明をしてきた。今回大きくかじを切る整理をしており、今後の運営や施設整備についてご意見を

お聞きし、今後の執行の参考にしたいという趣旨だ。

委員 市立児童館について、資料を拝見すると昭和20年代後半、要するに戦後にできたものがそのままの形で存続しているのかどうか。ニーズ、利用実績が平成の数年しか入っていない。もっと長いスパンで出すと、利用がどの程度減っているのかが見えてくるのではないか。なおかつ、ほかの政令市と比べて、岡山市は断トツに児童館単独で運営されているところが多い。これはなぜかという質問と、ニーズが高いと言われたが、少子化は着実に進んでいて、ふれあいセンターなどと一緒に併設されているものは利用の度合いが高いようなので、子供だけを対象にする施設の意味をもう一度根本から見直してみたいはかがか。

事務局 児童福祉法が昭和22年にできて、児童福祉施設という位置づけがあったが、岡山市で建設が始まったのは昭和40年代からだ。利用者数の推移というのが今手元にあるのは平成15年ぐらいからだ。ニーズはあると言っても、やはり少子化があるというご意見だったが、ゼロ歳児の間は約8割の方が育休等を取られて家庭保育をされている。最近は少子化、核家族化、兄弟が少なくなり、地域のつながりも薄れているので、孤独感を感じる保護者が増えていることから、親子の交流の場として力を入れていきたい。

児童館は原則ゼロ歳から18歳までの施設として運営はしているが、今も3世代交流事業などの取組は行っており、世代間交流も進めていきたい。

委員 ほかの政令市と比べて、岡山市の単独施設が圧倒的に多いように見えるが、ほかには複合施設だったり併設になっている。ほかの年齢、ほかの施設との並立なども考えてみてはどうか。

事務局 岡山市は政令市の中でも、直営、社協ともに児童館単独で運営している。ほかの政令市が一番多いのは放課後児童クラブと併設ということが半分の11都市、これは岡山市の場合、放課後児童クラブは小学校の敷地内につくる方向で整備をしてきているが、ほかの都市は小学校外に児童館があり、そこで児童クラブを併設するなど歴史的な経緯があるようだ。今後そういうところもご意見をお聞きして運営を考えていきたい。

委員 地域の小学校の学童クラブを何度か拝見したが、かなり狭いスペースで、このコロナ禍の中でも密に子供たちは生活している。せつかくある施設なので、そういったところも含めてご検討いただきたい。

委員 児童館について、単独館が多いという意見はあったが、せつかくあるので、それをしっかり生かしていけばいいと思う。

児童館に欠員があり、そこをきちんと見てほしい。乳幼児ヘシフトすると、その手間は小学生よりもかかると思う。利用人数が減っているということから見ると、夏にクーラーがない部屋があるなど、施設の老朽化などは振り返って、そこに力を入れてほしい。

善隣館の資料4ページ、運営の5つの強化の観点が挙げてあり、これも、あれもできてないという感じに聞こえたが、原因は何なのか。

事務局 高度で専門的な養育機能について、ソフトもハードも専門性を高めることが大切であると思う。人事異動で何年かごとに替わっていく中で、不十分だと思う。また、家庭的養育の推進についても、里親支援というのは職員としての専門性、力量、そして経験年数が必要だが、公の施設は人事異動があるため、難しい。この在り方を整理する中で、もう一度立ち返って研修の在り方、人事体制を考えて改善を進めていきたい。

委員 人事異動があるためできないとすると、これはずっとできないという話だ。

事務局 言葉が足りなかったが、岡山市は政令市になって一時保護所もできた。一時保護所とローテーションが随分組めるようになり、そこで働く専門職の人数も増え、層の厚さと専門性を高めることが併せてできるようになった。

委員 市で無理なら、民間に下ろせばいいのではないか。徹底した指導、運営ができるのではないか。

委員 今、民間に下ろしてはどうかという話があったが、岡山市は児童養護施設としては善隣館だけしか持っていない。さっきの仁愛館もそうだと思うが、市の子供たちとか保護者たちがどういう状況なのか、直に把握して連携を取っていけるのは市の強みではないか。その整備体制に、力を入れてほしい。

事務局 今日、善隣館と仁愛館のご説明をしているが、仁愛館は今後は柔軟に運営できる指定管理を検討していく。一方で、善隣館は同様の民間の施設が幾つかあり、民間では担えない機能を直営で維持しようと、当面直営を維持する。

委員 幼稚園・小学校のPTA会長をして、就学前、幼稚園に入る前の家庭生活、これが一番大事だと思う。そこを大事にして児童館を続けていってほしい。お母さんもストレスがたまっているからそれをいかに和らげるか、1つには、先ほど支援

拠点事業を増やしたと言われたが、いいことだと思う。親の助けになってあげてほしい。そうすると、今度はいじめ、虐待が減ってくると考えている。重点的にやってほしい。

委員 善隣館、仁愛館は令和7年度あたりまでに、必要な改修、基本計画を立てて出来上がるということだな。

事務局 高度成長期に建設した建物が日本国中にたくさんあり、人口減少で施設の利用が増えない中、本年度を期限に個別施設計画を立てることになっていた。実はこの3つの施設は、当初から個別施設計画の前に、まず在り方を整理しなさいと注文がついていた。ソフト面とハード面を整理して、不十分なところはこ入れを図ることとした。施設整備のスケジュールも整理をし、順次予算化しているという状況なので、ほぼこのスケジュール通りと考えている。

委員 岡山市は全天候型の大きな拠点が無い。できれば、そういうものをつくっていただければ一番ありがたい。子育て中のお母さんは実は、家で1人で子供を見れないという方がいて、児童館、子育て支援センターなどの拠点を求めて週5日ぐらい、いろんなところへ行ってママ友をつくって、情報を得て子育てをしている方もいるので、ぜひ岡山市でそういう拠点をつくってほしい。

会長 他にあるか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

### (3) その他

委員 保育園・幼稚園と小学校の接続、交流についてお考えをききたい。昨日、幼保運営課から岡山式カリキュラムが改訂になったと伺った。大きい園だと小学生以上に園児がいるなど、交流の悩みがある。子供たちが小学校へ向けて希望を持って準備ができるような機会が持てるとありがたい。

事務局 岡山型一貫教育は、中学校区単位での幼稚園・保育園と小学校との接続について、非常に大事なことだと考えており、そのやり方については、今あげられた課題等もあるので、より効果的な接続ができる形を引き続き検討していきたい。

会長 他にあるか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

閉会